

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第51号
文責 校長 西村羊治
令和7年11月21日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

さりげない思いやり

私は現在、朝から運動場に出て運動場周りの草取りをしています。根が深くなかなか手強いです。7:30ぐらいから子供たちが登校坂を登ってきます。ほとんどの子が元気にあいさつしてくれます。「おはようございます」「校長先生おはようございます」「西村校長先生おはようございます」。私も負けじと「おはようございます」とおなかに力を入れて子供たちに聞こえるように、あいさつします。寒く着込んで作業をするのですが、作業を続けるとだんだん体が熱くなります。そこで、上着を2枚脱ぎ作業を再開します。腰も痛くなり体力も限界になるので8:00過ぎに作業を終え、片手に草取り鋤、もう片方に上着2枚を持って校舎に戻ろうと歩いていました。すると6年生のある女の子が、私の所にやってきて、「校長先生、持ちます。」と私が持っている草取り鋤や上着を運んでくれるというのです。涙が出るくらい嬉しくて温かい言葉です。このような言動ができる6年生に感謝、このような子どもに育ててくださった保護者の方に感謝、このような児童になる教育をしてくれた職員に感謝です。

さりげない思いやり、簡単で簡単ではありません。難しくてなかなかできないことです。でもさりげなくできる人は簡単なのかもしれません。すばらしいと思います。子どもの「さりげない思いやり」を感じたワンシーンでした。

朝のなわとび



みかんがりへ

審議員訪問授業

11月21日(金)、宇城市教育委員会の学校教育審議員の豊田先生に來校いただき、3年生と4年生の授業を参観及びご指導いただきました。4年生は栗崎花絵教諭の道徳、3年生は山下玲於奈教諭の算数でした。どちらも子供たちは意欲的に授業に取り組んでいました。4年生の転入生もしっかり発表していました。3年生は小数の引き算をすることがとても楽しそうでした。わかる喜び、認めてくれる喜び、自分の発表を聴いてくれる喜び、先生がほめてくれる喜び、できるようになった喜び。

子供たちには、たくさんの達成感、成就感、成功体験、充実感を味わわせてあげたいものです。このことが、自己肯定感や自尊感情、さらには自信や自分は自分のままでいいと自分を好きになることができると思います。先日の朝刊に10代の女性の自死の人数の増加の記事が載っていました。悲しいことです。自他の命を大切にするためにも学力や豊かな心など、必要な力を身に付けていって欲しいと思います。

今回の審議員訪問授業はもちろん、日頃の毎日の授業で少しずつ少しずつ自分を好きになる力を付けていきましょう。期待しています。

豊田先生、今回は大変お世話になりました。ありがとうございました。

3年生



4年生

